

**(増刊) 牛群検定通信 No.8**

夏本番です。今回は、暑熱対策に有効な「標準乳量」関連の2つの記事をあわせて紹介します。標準乳量については、この他にもLIAJニュースバックナンバーNo116, 117, 118でも紹介しておりますのでご参照下さい。

今回のように、地域密着で牛群検定を有効活用している事例がございましたら、どんどん紹介していきたいと思っておりますので、是非ともご一報下さい。

toiawase@liaj.or.jp Tel:03-5621-8921 / 050-5536-8027 / Fax:03-5621-8922

**牛群検定の利活用について解説記事を掲載しています****1 「畜産技術（畜産技術協会）」平成23年8月号**

タイトル 牛群管理指標としての標準乳量の算出

(独)農研機構 畜産草地研究所 佐々木修主任研究員 著

**標準乳量の学術的に詳細な解説が掲載されています**

**2 「Mother's（熊本県らくのうマザーズ）」平成23年5月号**

タイトル 暑熱対策の効果を分析してみる

熊本県らくのうマザーズ 生産本部営農推進課 村上聡主任 著

**標準乳量を利用した酪農現場での暑熱対策の調査および指導事例が掲載されています**

[http://www.mothers.or.jp/members/pdf\\_mag/magazine1105.PDF](http://www.mothers.or.jp/members/pdf_mag/magazine1105.PDF)

**3 「農家の友（北海道農業改良普及協会）」平成23年8月号**

タイトル 繁殖台帳Webシステムの開発とその活用

**4 「開拓情報（全国開拓振興協会）」好評連載中！**

タイトル 新牛群検定成績表の実践活用法

8月号 その10 ボディーコンディションとペアレンツアベレージ表示 **8月からの検定成績表解説！**

<http://www.kaitakusya.or.jp/> 最新版は左記へアクセス！

**5 「Dairy Japan（デーリイジャパン社）」好評連載中！**

タイトル 今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営

8月号 その8 牛群の飼養管理に合わせた種雄牛の選び方

1～4月号の記事をホームページ掲載しました！

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

**6 「LIAJニュース（家畜改良事業団）」No.129 好評連載中！**

タイトル 新しい検定成績表について

7月号 その15 育成牛のペアレンツアベレージ(PA)、ボディコンディション管理の表示など

**8月から検定成績表が一部変更となりました！本号が解説書になります。**

最新刊の入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせ下さい。

在庫分を無料でお送りします。バックナンバーは当団ホームページをご参照下さい。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

**注目！**

LIAJニュースにおけるこれまでの連載記事で使用されている図表を  
パワーポイント形式で**無料配信**しております。

今回の成績表変更など、どうぞ地域の研修会などで紹介して下さい！

使用目的を添えて、toiawase@liaj.or.jp までメールを下さい。

**えっ？牛群検定を無料で体験できる？**

本年度も牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行（通称「お試し検定」）を実施いたします。牛群検定にかかる諸経費を、最大6ヶ月間、家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス！」とお伝え下さい。

牛群検定を始めれば、自宅のパソコンや携帯電話で検定データを活用できる「繁殖台帳 Web システム」も使い放題です。詳しくはお問い合わせ下さい。toiawase@liaj.or.jp

# ボディコンディション管理

## 8月から新しい検定成績表になりました！

### ①ボディコンディションの判定

以前より、牛群検定関係者から牛群検定への導入が熱望されていたボディコンディションが、今春より新しい検定項目として実現しました。ボディコンディションとは、牛体の体脂肪蓄積などを観察管理することで、牛群の栄養管理などに利用する酪農技術です。ボディコンディションの判定方法は、ボディコンディションスコア（BCS）としてファーガソン博士が提唱したUV法が一般的に知られておりますが、この度の牛群検定ではUV法にこだわらず、もっと広く簡易的な方法を利用しても良いこととしております。なぜならば、これまで各酪農家または地域ごとで独自に行っていたボディコンディションの管理方法も有用な方法として経営に役立っていたわけですから、その方法を否定してまでUV法を導入する必要はないからです。極めて簡易的に、削瘦（2）、普通（3）、過肥（4）の3段階で判断する簡易BCSや、よりルーメンの張り出し状態を重視するルーメンスコア（RS）法、その他全く独自の牛体管理法を使用しても良いこととしております。

（ただし、ルーメンスコア法や独自の牛体管理法を使用している場合は、別途家畜改良事業団にお知らせ下さい。）

検定成績表の表示は、簡易BCSを用いたものを図4（様式A、B）に示しました。ボディコンディションは毎月の検定時に全検定牛を報告することも可能ですが、規模が大きい酪農家などでは作業的に困難が伴います。そういった場合は例えば牛群の半分は今月ボディコンディションの測定を行い、残り半分は来月実施するといった隔月での実施も可能です。検定成績表

では図4のとおり先々月までに測定された値を表示するようにしていますので、最大3カ月に一度の測定でも検定成績表に表示されます。（図5参照）

牛群検定においてはこのように幅広い測定法を可能としていますが、泌乳末期～分娩前後の判定は重要ですので欠かさないようにします。

### ②ボディコンディションの利用

さて、このように測定し検定成績表に表示されるボディコンディションですが、その利用は多岐にわたります。もっとも大事なことは、飼料を過不足なく給与しているかどうかの判断を行うことです。そして、もっとも注意すべき点が分娩前の過肥にあります。過肥自体がまず飼料の無駄であり経営上の損失であることは言うまでもありませんが、分娩前の過肥はケトosis、低カルシウム血症や、第四胃変位などの周産期病の温床となり、さらには分娩後の繁殖成績に悪影響をおよぼすことが知られています。こういっ

たことから、以前は乾乳牛は太っていた方が良くとする方もいましたが、現在では乾乳期であっても過肥は禁物とされています。さらには、乾乳期に入ってからボディコンディションの調整は、妊娠末期でもあり流産死産といった事故を招く危険性があることから、泌乳末期までにボディコンディションの調整を完了させる必要があります。このことは、検定成績表に表示される分娩予定日の近い検定牛のボディコンディションをより注意する必要があることを示しています。搾乳日数順で牛が並んでいる様式Aでは、泌乳末期や乾乳期の検定牛が検定成績表の下部に集まって表示されますので、より管理しやすくなっています。

なお、より詳しいボディコンディションの具体的な利用方法については、誌面の都合上改めて紹介したいと思います。

（補足）

前述した検定時のボディコンディションとは別に日本ホルスタイン登録協会が行う体型審査時のボディコンディションスコアを利用した遺伝評価を2011-8月評価より公表する予定となっています。

検定成績表（個体検定日成績）

BC:ボディコンディション

牛コード	分		娩		搾乳又は乾乳日数	P/F比	濃厚飼料給与量(kg)	直近体重(kg)	BC管理
	年	月	産次	産子性別					
0775	2305	30	2	♂	1		8.0	565	3.00
5311	2305	16	1	♀	1	0.53	11.0	422	4.00
5314	2305	11	1	♀	1	0.60	14.0	435	4.00
0737	2305	10	3	♀	1	0.54	14.0	587	3.25
0744	2304	30	3	♀	1	0.60	13.0	666	3.00
0732	2304	23	3	♂	1	0.57	12.0	735	4.00
0703	2304	22	5	♂	1	0.86	13.0	732	4.00
0750	2304	19	3	♀	1	0.73	14.0	627	3.50

斜体は先々月

太字は今月

細字は先月

初産体重400kg代小さめですが、ボディコンディション4で過肥。分娩前後の過肥は、周産期病を発症しやすい。

LIAJニュース No129  
平成23年7月25日より

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>